

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 10:00～11:30 一般口頭発表

A 会場

降水システムI

座長：竹見 哲也（京大防災研）

- A101 杉本 志織（筑波大院生命環境） チベット高原東部及び四川盆地で発生するメソ対流系が上層気圧や周辺降水に及ぼす影響
- A102 竹見 哲也（京大防災研） 夏期局地降水の環境条件の将来変化
- A103 小司 禎教（気象研） GPS解析の改良
- A104 田尻 拓也（気象研） MRI雲生成チェンバーによる人工降雨基礎実験吸湿性粒子シーディングの評価
- A105 藤田 浩史（気象協会） 人工降雪実験観測データを用いたシーディング効果の定量的判定の試み
- A106 橋本 明弘（気象研） 航空機による雲シーディング実験の高解像度数値シミュレーション（その2）
- A107 山下 晃（（元）阪教大） 雪結晶の成長機構 - 3種類の人工雪実験から -
- A108 高橋 庸哉（北教大） 鉛直過冷却雲風洞実験による樹枝状雪結晶の成長温度領域の決定

B 会場

気候システムI

座長：楠 昌司（気象研）

- B101 二宮 洸三 (JAMSTEC) メイユ・梅雨前線降水帯の年々変動に関するCMIP3-20世紀実験モデル相互比較
- B102 道広 有理 (京大防災研) GCMおよび排出シナリオの違いによるCMIP3マルチ気候モデルの予測不確実性について
- B103 久保田 尚之 (JAMSTEC) 20世紀を通じた西部北太平洋域での台風とモンスーンに関する変動
- B104 楠 昌司 (気象研) 地球温暖化による梅雨の変化
- B105 遠藤 洋和 (気象研) 過去100年の日降水量データによる梅雨の季節進行の長期変化 第2報
- B106 末吉 雅和 (気象研) CMIP3マルチモデルデータによるアリューシャン低気圧の再現性と将来変化の関係
- B107 谷貝 勇 (無所属) 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について（その3）ーシベリア温暖化の影響と近未来予測ー
- B108 吉森 正和 (東大大気海洋研) CMIP3気候モデル出力を用いたグリーンランド氷床表面質量収支の将来予測幅について

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 10:00～11:30 一般口頭発表

C 会場

境界層I

座長：河野 仁(兵庫県立大)

- C101 高橋 一之 (都環科研／首都大都市環境) 夏季における東京都区部の風系とヒートアイランド現象との関係 (第5報)－東京周辺の気圧分布による夜間の風系の解析－
- C102 藤原 忠誠 (北大院環境科学) ドップラーライダーで観測した海上の組織的気流構造
- C103 菅原 広史 (防衛大地球海洋) シンチロメータによるフラックス計測の検討
- C104 近藤 裕昭 (産総研) 地上ラドン濃度上昇時の平均的特徴について

座長：高橋 一之(都環研)

- C105 久米村 秀明 (東工大院理工) 高速サーモカメラによるビル壁面に沿った熱上昇流の観測
- C106 仲吉 信人 (東工大院理工) 3球の小型グローブ温度計を用いた風速，短波・長波放射量の推定方法
- C107 河野 仁 (兵庫県立大学) 不安定時の都市大気乱流の特徴－モニン・オブコフ相似則の適用可能性
- C108 中村 美紀 (京大院人間環境) 大気は地面から冷えない
- C109 増田 仙一 (京大院人間環境) バルク係数CHと分子拡散の関係

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 10:00～11:30 一般口頭発表

D 会場

惑星大気

座長：小郷原 一智 (JAXA/ISAS)

- D101 乙部 直人 (福大理) MELOS 火星着陸機の気象観測測器の検討
- D102 小郷原 一智 (JAXA/ISAS) 火星ダストストーム拡大地域の特定とその考察
- D103 高橋 芳幸 (神戸大院理) 高解像度火星大気大循環モデルで表現される小規模擾乱によるダスト巻き上げ過程への影響
- D104 山下 達也 (北大院理) 主成分凝結を伴う 2 次元大気対流の準平衡状態
- D105 加藤 亮平 (九大院理) 木星大気大規模渦の数値実験：大規模渦の生成メカニズム
- D106 納多 哲史 (神戸大理) 同期回転惑星における暴走限界の自転角速度・日射分布依存性

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 13:30～17:00 専門分科会

A 会場

「気象庁が提供する気象データの利用と数値モデル開発の現状・課題」

趣旨説明

座長：加藤 輝之（気象庁数値予報課）

- A151 佐藤 芳昭（気象庁数値予報） 気象庁の数値予報におけるデータ同化開発の現状と課題
- A152 永戸 久喜（気象庁数値予報） 気象庁のメソ数値予報における開発の現状と課題
- A153 経田 正幸（気象庁数値予報） 気象庁全球モデルにおける開発の現状と課題
- A154 宮岡 健吾（気象庁気候情報） 気象庁気候情報課からのデータ提供と1か月予報におけるMJO予報特性
- A155 眞木 貴史（気象研） 気象庁二酸化炭素分布情報を用いたGOSATのバイアス調査

休憩

座長：岩崎 俊樹（東北大学大学院理学研究科）

- A156 向川 均（京大防災研） 気象庁1ヶ月アンサンブル予報結果を用いた成層圏-対流圏力学結合の予測可能性に関する研究
- A157 田中 博（筑波大CCS） 気象庁GPVデータを用いた筑波大CCSの取り組みについて
- A158 中村 健治（名大水循環センター） 静止気象衛星のrapid scanデータによる降水システムの研究への期待
- A159 伊藤 耕介（京大理） 非静力学メソ4次元変分法データ同化システム(JNoVA)における強風状況下の海面交換係数の最適化
- A160 瀬古 弘（気象研） LETKFをネストさせた雲解像度同化システムの開発
- A161 田口 正和（愛知教育大） 2001/02—2009/10年における気象庁1ヶ月アンサンブル予報データを用いた冬季北半球成層圏の予測可能性

総合討論

座長：余田 成男（京都大学大学院理学研究科）

※質疑を含めた講演時間：招待講演（アンダーライン）は16分、その他は13分。

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 13:30～17:00 専門分科会

B 会場

「衛星搭載マイクロ波放射計と雲・降水システム研究」

趣旨説明 (5分)

第1部 基本的なReview （招待講演）

座長 ： 青梨 和正（気象研）

- B151 重 尚一（京大院理） 衛星搭載マイクロ波放射計観測データの利用入門
- B152 今岡 啓治（JAXA/EORC） 衛星搭載型マイクロ波放射計の観測装置概要について
- B153 高橋 暢宏（NICT） 衛星搭載マイクロ波放射計（イメージャ）降水アルゴリズムの基本

第2部 衛星搭載マイクロ波センサによる最近の雲・降水システム等の研究の紹介 （一般講演）

座長 ： 高薮 縁（東大大気海洋研）

- B154 青梨 和正（気象研） 新しい陸上のマイクロ波放射計降水リトリーバルアルゴリズムの開発（その2）
- B155 谷口 藍奈（京大院理） 山岳域におけるマイクロ波放射計を用いた降雨推定の改良に向けて
- B156 久保田 拓志（JAXA/EORC） 海岸域のマイクロ波放射計降水アルゴリズムの開発
- B157 村山 裕紀（東大気候システム） TRMM降雨レーダーデータを用いたextreme rainの地域特性の解析 Part1
- B158 河本 望（RESTEC） アメダス雨量計を用いたTRMM/PR年間降雨量の検証
- B159 鷹野 敏明（千葉大工） 雲レーダによる雲・水蒸気の計測と衛星検証

全体討論 (30分)

座長 ： 沖 理子（宇宙航空研究開発機構）

※質疑を含めた講演時間：招待講演は25分，その他は15分．

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 13:30～17:00 専門分科会

C 会場

「ウィンドプロファイラの現状と将来」

WPRの基礎

座長：赤枝 健治（気象庁観測）

C151 深尾 昌一郎（福井工大） ウィンドプロファイラーの展開

気象庁のWPR網の特徴

座長：別所 康太郎（気象庁観測）

C152 白野 和浩（気象庁観測） WINDASの展開と運用状況

C153 酒匂 啓司（気象庁数値予報） ウィンドプロファイラのデータ同化における利用と課題

WPRの高度利用について

座長：小林 隆久（気象研）

C154 瀬古 弘（気象研） プロファイラーで観測された屈折率の同化実験

C155 佐藤 晋介（NICT） 400MHz帯WPR/RASSによる沖縄亜熱帯域の風速および気温プロファイルの定常観測の現状と課題

C156 川畑 拓矢（気象研） 沖縄本島の降水予報におけるRASS観測データのインパクト

C157 梶原 佑介（気象庁観測システム） ウィンドプロファイラで得られたスペクトル幅による乱気流監視の可能性

C158 松田 真（京大生存研） 大気境界層におけるウィンドプロファイラレーダーの風速推定誤差に関する研究

C159 坂崎 貴俊（北大環境） WINDASで明らかになった日本上空下部対流圏の風の日変動

次世代WPRに向けて

座長：橋口 浩之（京都大学生存圏研究所）

C160 山本 衛（京大生存研） 大気レーダー1／2／3次元イメージング

C161 西村 耕司（情報・システム研究機構） 空間・周波数干渉計法とアレイアンテナ技術による対流圏イメージング

C162 津田 敏隆（京大生存研） Development of RASS with a Boundary Layer Radar at NARL, India

C163 関澤 信也（NICT） 1.3GHz帯ウィンドプロファイラの多重化と稠密配置の検討

C164 橋口 浩之（京大生存研） ソフトウェア無線技術を用いたウィンドプロファイラー用デジタル受信機の開発

総合討論

※講演時間：招待講演（アンダーライン）は15分（講演12分＋質疑応答3分）、その他は12分（講演10分＋質疑応答2分）。

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 13:30～17:00 専門分科会

D 会場

「2010年夏の異常気象」

趣旨説明

座長：楠 昌司（気象研）

- D151 田中 昌太郎（気象庁気候情報） 2010年夏の記録的な高温について
- D152 前田 修平（気象庁気候情報） 気象庁アンサンブル季節予報システムによる2010年夏の予測
- D153 松枝 未遠（JAMSTEC） 2010年夏季にモスクワ周辺に熱波をもたらしたブロッキングの予測可能性
- D154 森 正人（東大大気海洋研） 大気大循環モデルを用いた2010年夏季の天候再現実験
- D155 遠藤 洋和（気象研） MRI-AGCMによる2010年夏の再現実験
- D156 小林 ちあき（気象研） 2010年夏季における対流圏中緯度域の昇温について
- D157 小坂 優（ハワイ大IPRC） ENSO発達期における夏期北西太平洋モンスーン活動偏差

座長：前田 修平（気象庁気候情報）

- D158 宮坂 貴文（東大院理） 2010 年夏季ユーラシア域の異常気象の連関と偏西風の異常蛇行
- D159 立花 義裕（三重大生物資源/JAMSTEC） 2010年夏の北極振動指数 (SV NAM)異常とそれに関連した半球規模の猛暑
- D160 大富 裕里子（三重大生物資源） 2010年北極振動の冬から夏への極性反転と猛暑の連関
- D161 小寺 邦彦（名大STE） 2010年7月中旬の循環場の急変と夏の異常気象
- D162 釜堀 弘隆（気象研） 2010年不活発な台風活動
- D163 増田 善信（（元）気象研） 2010年夏の異常気象と巨大ブロッキングの卓越
- D164 谷田貝 亜紀代（地球研） インド北部ラダーク地域の2010年8月の豪雨 ―現地観測データと循環場―

※各講演の持ち時間は13分（講演10分＋質疑応答3分）です。

大会第2日 〔 5月19日(木) 〕 9:30～11:30 一般口頭発表

A 会場

降水システムII

座長：津口 裕茂（気象研）

- A201 二宮 洸三 (JAMSTEC) 1968年8月17日飛騨川豪雨の降水システム
- A202 山田 芳則 (気象研) 東京・雑司ヶ谷に大雨をもたらした2008年8月5日の積乱雲の内部構造
- A203 斉藤 和雄 (気象研) 2008年8月5日首都圏局地的大雨の雲解像アンサンブル実験（その2 JNoVAによるGPS可降水量同化解析の利用）
- A204 宮城 和明 (東大大気海洋研) 2009年8月9日に中国山地東部の豪雨をもたらした降水系について
- A205 牛山 朋来 (土研ICHARM) 2010年7月5日に発生した板橋豪雨の数値シミュレーション
- A206 津口 裕茂 (気象研) 2010年10月20日の“奄美豪雨”の発生要因について
- A207 荒木 健太郎 (銚子地方气象台) 2009年8月9日に千葉市に局地的大雨をもたらした降水系の事例解析
- A208 木下 仁 (福岡管区气象台) 2010年10月20日奄美地方に大雨をもたらした環境場の過去事例との比較
- A209 川畑 拓矢 (気象研) 那覇ガープ川豪雨に関する同化・予報実験
- A210 岩崎 博之 (群馬大教育) 数値モデルを用いた水蒸気量増加が積乱雲活動の日変化に与える影響に関する研究
- A211 加藤 輝之 (気象庁数値予報) 大雨予測における診断的手法の確立に向けて その1：下層水蒸気場の特徴の把握

B 会場

物質循環

座長：梅澤 拓（東北大院理）

- B201 長澤 親生（首都大システムデザイン） CO₂濃度鉛直分布観測用次世代ライダーの開発（3）
- B202 井上 誠（環境研） GOSAT TANSO-FTS SWIRから導出されたXCO₂とXCH₄の検証 ―地上高分解能FTSと航空機観測データを用いて―
- B203 梅澤 拓（東北大院理） 航空機を用いた日本上空の対流圏メタンの観測
- B204 永島 達也（環境研） 東アジアの地表オゾンに対する発生源別寄与の長期変化
- B205 スンモヌ ルクマン・アヤニー（北大低温研） Water Vapor Isotope ratios in Surface Air in Sapporo, Japan

気象教育

座長：梅澤 拓（東北大院理）

- B206 坪田 幸政（桜美林大） 気候変動教育のカリキュラム開発～気候リテラシー～
- B207 加藤 内藏進（岡大教育理科） 日本の春の卓越気象系の特徴と季節感に関する中学校での授業開発（唱歌『朧月夜』を接点として）
- B208 加藤 内藏進（岡大教育理科） 地球温暖化と昆虫に関する教育学部生への講義（東アジア季節サイクルと昆虫の生活環の中で）

C 会場

境界層II

座長：中山 浩成（原子力研）

- C201 伊藤 純至（東大大気海洋研） LESによる海風前線の再現と水平対流のスケーリング
- C202 中西 幹郎（防衛大地球海洋） 台風境界層に発生する不安定のラージ・エディ・シミュレーション
- C203 中山 浩成（原子力機構） 乱流流入生成手法を用いたLESモデルと気象モデルによる都市域強風変動の融合解析
- C204 高根 雄也（筑波大院生命環境） 日本で最も暑い京阪地域における夏季高温の実態調査と形成要因の解明
- C205 日下 博幸（筑波大学計算科学） 降水に対する都市効果の検証 - アンサンブル気候実験 -

気候システムII

座長：松村 伸治（北大地環研）

- C206 佐藤 友徳（北大院地球環境） 北海道における土地被覆変化と地域気候応答の理想化実験
- C207 松村 伸治（北大院地球環境） オホーツク海高気圧における大気-陸面結合の役割
- C208 村田 昭彦（気象研） 高解像度日本域気候モデルによる夏季の高温の将来予測
- C209 栗原 和夫（気象研） AGCMにネストしたNHRCMの現在気候の再現実験（その1）-地上気温・降水-
- C210 栗原 和夫（気象研） AGCMにネストしたNHRCMの現在気候の再現実験（その2）-積雪-
- C211 馬淵 和雄（気象研） 近年発生したエルニーニョ前後の大気中CO₂濃度変動と陸域過程との関係に関する数値実験解析

大会第2日 〔 5月19日(木) 〕 9:30～11:30 一般口頭発表

D 会場

大気力学

座長： 渡辺 真吾 (JAMSTEC)

- D201 末吉 雅和 (気象研) 一般化された2次元流体系の波動活動度保存則
- D202 渡辺 俊一 (東大理) 回転する流体中に見られた振動現象と履歴現象
- D203 木下 武也 (東大院理) 慣性重力波とロスビー波に適用可能なストークスドリフトの定式化
- D204 渡辺 真吾 (JAMSTEC) 成層圏循環の変動と大気の平均年代の関連について
- D205 坂崎 貴俊 (北大環境) TIMED/SABERデータおよび全球再解析データを用いた対流圏一下部中間圏の大気潮汐の研究
- D206 岩崎 俊樹 (東北大) 傾圧不安定波動の発達率の一般化について
- D207 檜尾 守昭 (気象大) 条件付き不安定場における純粋な自由対流と強制対流の演繹的推測
- D208 村上 茂教 (気象研) エネルギーサイクル再考
- D209 黒木 祐樹 (防衛大地球海洋) シアと成層の変化に伴うKelvin-Helmholtz波による運動量輸送
- D210 日比野 研志 (京大院理) 大気エクマン層内の不安定摂動に対する逆転層の与える影響

大会第3日 〔 5月20日(金) 〕 9:30～11:30 一般口頭発表

A 会場

降水システムIII

座長：新井 健一郎（JR東日本防災研）

- A301 荒木 健太郎（銚子地方気象台） 2010年1月13日に新潟県に上陸したメソβスケールの渦状擾乱に伴う局地降雪について
- A302 濱田 一平（高知大院理） 土佐湾で発生した渦のレーダー解析
- A303 楠 研一（気象研） 庄内平野で観測された突風と気象じょう乱－渦および渦内部の地上風について－
- A304 猪上 華子（気象研） 冬季突風をもたらす気象擾乱の環境場把握に向けた高頻度ゾンデ観測概要
- A305 楠 研一（気象研） 渦列をもつ降水帯周辺の高頻度高層ゾンデ観測－2010年12月7日の事例－
- A306 新井 健一郎（JR東日本防災研） 庄内平野において小型ドップラーレーダーデータから自動検出された下層の渦の特徴
- A307 西橋 政秀（気象研） 庄内平野で観測された冬季雷の3次元標定
- A308 瀬瀬 丈晴（名大地球水循環） 名大Xバンド偏波レーダーを用いて観測された雷雲の内部構造の時間変化
- A309 道本 光一郎（防衛大） 小松空港周辺の冬季航空機被雷（2010/11シーズンの観測結果等）について
- A310 若山 直彦（阪大院工） 気象用Ku帯広帯域レーダを用いた庄内空港，着陸飛行経路上の正対風，横風観測
- A311 川島 正行（北大低温研） 寒冷前線上の水平シア不安定に対する局所的鉛直シアの影響

B 会場

中緯度大気

座長： 本田 明治（新潟大学）

- B301 西川 はつみ (三重大生物資源) ラジオゾンデ連続放球による海洋上の革新的な気象観測
- B302 古澤 文江 (名大地球水循環) 衛星データを用いた黒潮流域の降水についての研究
- B303 山本 勝 (九大応力研) 東アジア縁辺海が日本海低気圧に与える影響
- B304 田口 文明 (地球シミュレータ) 北太平洋亜寒帯前線の十年規模変動に対する大気応答の季節性
- B305 佐藤 大卓 (東大院理) 冬季アジアジェット沿いに卓越する波列偏差パターンの解析
- B306 山崎 哲 (九大院理) 渦と渦の相互作用によるブロッキング持続メカニズム (その2)
- B307 田中 翔 (新潟大理) 秋季北極海における寒気吹き出し時の乱流熱フラックスの見積もり
- B308 猪上 淳 (JAMSTEC/RIGC) 寒波をもたらすバレンツ海の高・低気圧活動に関する観測的研究
- B309 堀 正岳 (JAMSTEC/RIGC) 冬季東アジアに襲来する寒波とバレンツ・カラ海上の大気変動および大西洋上のブロッキングとの関連性
- B310 力石 國男 (弘前大院) 2010/11年豪雪をもたらした大気循環は特異であったか？

C 会場

熱帯大気

座長：柳瀬 亘（東大大気海洋研）

- C301 川島 正行（北大低温研） HARIMAU2006期間中に西スマトラで観測された対流システムに伴う突風現象
- C302 吉崎 正憲（IORGC）異なる東進速度を持つ赤道対称降水系（スーパークラスタとMJO）の発現について
- C303 柳瀬 亘（東大大気海洋研） 夏季モンスーン期とその前後にベンガル湾に発生する熱帯低気圧の環境場
- C304 横田 祥（東大大気海洋研） ITCZ Breakdownによって発生した台風の再現実験
- C305 宮本 佳明（京大防災研） 熱帯低気圧の自己励起的発達過程への遷移メカニズム
- C306 吉田 龍二（京大防災研） 数値モデルを用いた台風 Francisco (T0118) の初期渦形成過程に関する研究
- C307 山田 広幸（JAMSTEC） 台風Fengshen(2008)の発生に関わるメソスケール過程
- C308 那須野 智江（JAMSTEC） 全球非静力学モデルを用いた台風0806号（Fengshen）再現実験第3報
- C309 武田 一孝（東大大気海洋研） 台風の水平スケールに影響する要因に関する数値的研究
- C310 相澤 拓郎（筑波大院生命環境） NICAM で再現された2008 年台風13号に見られたアイウォール再配置プロセス
- C311 北畠 尚子（気象研） 温帯低気圧化した台風の構造の特徴

D 会場

エアロゾル

座長：五藤 大輔（東大大気海洋研）

- D301 鶴田 治雄（東大大気海洋研） 春季の福江島における大気エアロゾルの形態分析(第1報) ----炭素系粒子と土壌系粒子およびそれらの混合状態----
- D302 鶴田 治雄（東大大気海洋研） 春季の福江島における大気エアロゾルの形態分析（第2報） ----海塩粒子と硫酸塩粒子および硝酸塩粒子----
- D303 五藤 大輔（東大大気海洋研） 全球モデルを用いたブラックカーボンの大気変質過程に関する研究
- D304 古谷 浩志（東大大気海洋研） 都市大気における大気エアロゾルの単一粒子組成と吸湿性の関係
- D305 松井 仁志（東大先端研） 北京周辺域における新粒子生成のエアロゾル数濃度および雲凝結核濃度への影響
- D306 梶野 瑞王（気象研） 多重モードとフラクタル凝集形状を考慮した自由分子領域と近連続領域における粒子ダイナミクスモデル（MADMS）の開発
- D307 梶野 瑞王（気象研） 大気エアロゾルの多様性を考慮しながらダイナミクスを解くモーダル・ビンハイブリッドモデル（MBHM）の開発
- D308 兼保 直樹（産総研） 東シナ海北部および中部におけるエアロゾルSSAのin-situ測定値の比較
- D309 甲斐 憲次（名大院環境） 2004年春季のタクラマカン砂漠におけるダスト層の形成 - 崩壊過程の研究
- D310 板橋 秀一（九大院総理工） 2000-2010年の東アジア域におけるエアロゾル光学的厚さの経年変化
- D311 竹村 俊彦（九大応力研） 2011年2月上旬の日本における大気汚染について

A 会場

降水システムⅣ

座長：出世 ゆかり（防災科研）

- A401 岩井 宏徳 (NICT) ドップラーライダーとウィンドプロファイラにより観測された2010年7月5日の局地的大雨
- A402 李 根玉 (名大地球水循環) Dual-Doppler radar analysis on enhancement mechanism of precipitation system occurred on 6 July 2007 around Mt. Halla, Jeju Island, Korea
- A403 小林 文明 (防大地球) 95GHz雲レーダーとXバンドレーダーを用いた積乱雲発生の同時観測
- A404 金 東順 (防災科研) 2台のXバンドマルチパラメータレーダにより検出された局地的大雨の降水コアー2008年8月5日の雑司が谷豪雨の事例解析ー
- A405 出世 ゆかり (防災科研) 2010年7月5日に東京都北部に豪雨をもたらした降水システムの雨滴粒径分布と降水セルの振る舞い
- A406 渡邊 明 (福島大) 2010年12月25日の会津地方の豪雪
- A407 中井 専人 (防災科研雪氷) 降雪粒子特性と降雪強度変動の多点地上観測
- A408 西川 将典 (名大地球水循環) 2台のKa帯レーダを用いた降雨の対向観測
- A409 鷹野 敏明 (千葉大工) 千葉大雲レーダ FALCON-I による積乱雲の高分解能ドップラ観測
- A410 上野 健一 (筑波大院生命環境) 中国南西地域で発生するメソ対流系の地域的特徴
- A411 伊賀 啓太 (東大大気海洋研) Polar Low の発生と発達に対する上層渦の影響について
- A412 栃本 英伍 (九大院理) 渦位で見る梅雨前線帯の低気圧の発達過程

B 会場

気象予報

座長：吉村 裕正（気象研）

- B401 吉村 裕正（気象研） 二重フーリエ級数を使用した非静力全球スペクトル大気モデルの開発
- B402 榎本 剛（JAMSTEC） 非負フィルタを適用したスペクトル双3次内挿法
- B403 池田 亮作（筑波大院生命環境） 一般曲線座標系による並列LESモデルの開発
- B404 端野 典平（東大大気海洋研） 能動型衛星観測を用いた全球雲解像モデルの雲微物理統計量の評価
- B405 上清 直隆（気象研） 主成分を利用したAIRSデータによる気温・水蒸気プロファイルのリトリバル
- B406 青梨 和正（気象研） 雲解像モデル用のEnsembleに基づく変分同化法へのSpectral Localizationの導入
- B407 榊谷 道子（NOAA/NCEP/EMC, JCSDA） Observing System Simulation Experiments
- B408 石橋 俊之（気象研） 4D-Varにおける評価関数の2次形式を保持した基本場更新の効果
- B409 伊藤 耕介（京大理） 台風状況下の水蒸気フラックス偏差が短時間で最大風速に影響を与える過程
- B410 山口 宗彦（気象研） 理想的な台風渦に対する特異ベクトルの性質
- B411 馬場 雄也（地球シミュレータ） WENOスキームの雲解像モデルへの適用

C 会場

気候システムIII

座長：吉村 純（気象研）

- C401 佐藤 尚毅 (東京学芸大) CMIP3マルチ気候モデルにおける, MJOの冬季東アジアモンスーンへの影響の再現性評価
- C402 鈴木 靖 (京大防災研) CMIP3気候変動情報の活用ー大気海洋間CO₂フラックス評価ー
- C403 野原 大輔 (電中研) 平衡気候感度に対する放射強制力と気候フィードバックのバランス変化
- C404 杉 正人 (JAMSTEC) 高解像度AGCMの228年ランにおける雲とエネルギー収支の変化
- C405 吉村 純 (気象研) 高解像度全球大気モデルの長期積分における熱帯低気圧(2)
- C406 川上 瑠菜 (九大院理) 北半球における独立成分の抽出
- C407 三瓶 岳昭 (会津大CAIST) 環状モードの形成における中緯度海洋SSTフロントの影響
- C408 河本 和明 (長大環境) CloudSatとMODISデータを用いたアマゾンと中国における低層水雲特性の比較
- C409 徐 健青 (JAMSTEC) チベット高原Siling Co湖における熱・水収支
- C410 菅野 洋光 (東北農研センター) 北日本における4月と8月気温の強い相関関係とその時間変動
- C411 松本 教久 (東洋大院生命科学) 環境気象と動物行動の複雑性との関係についてー多変量解析による局所的フラクタル次元解析ー

D 会場

放射

座長： 朽木 勝幸（気象研）

- D401 関口 美保 (海洋大) ナローバンドモデルRstarへの非球形散乱過程の導入
- D402 岡本 創 (九大応力研) CloudSat-CALIPSOによる氷粒子の後方散乱係数の波長比、偏光解消度と微物理特性の関係について
- D403 MISHRA AMIT KUMAR (GSES, Nagoya University) Vertical distribution of optical and microphysical properties of aerosol over Indo-Gangetic basin (IGB)
- D404 Khatri Pradeep (CEReS) Spectral single scattering albedo over SKNET site retrieved using spectral direct/diffuse measurement
- D405 久慈 誠 (奈良女子大) 視程観測データを用いた中国大陸における気候変動の研究
- D406 朽木 勝幸 (気象研) 全天分光日射計による積雪物理量の推定 ―積雪2層・非球形粒子モデルの導入―
- D407 青木 輝夫 (気象研) 積雪2層モデルによる積雪物理量の衛星リモートセンシング

大会第4日 〔 5月21日(土) 〕 13:30～17:00 専門分科会

A 会場

「柳井迪雄先生追悼特別セッション：熱帯気象学の明日へ向けて」

座長：高荻 縁（東大大気海洋研）

- A451 松野 太郎 (JAMSTEC) 熱帯対流気象学の建設
- A452 廣田 勇 (京都大学名誉教授) 東京大学における柳井迪雄博士のご功績
- A453 山岬 正紀 (JAMSTEC) wave-CISKとマデン・ジュリアン振動
- A454 時岡 達志 (JAMSTEC) 柳井先生の講義の思い出
- A455 安成 哲三 (名大地球水循環) ヒマラヤ・アッサム・バングラデシュ多雨帯におけるモンスーン準2週間周期変動－時空間特性とその機構－
- A456 植田 宏昭 (筑波大生命環境) アジアモンスーンの成立と変動における熱帯の役割
- A457 尾瀬 智昭 (気象研) 気象研・革新モデルの積雲対流とアジアモンスーン

座長：佐藤 正樹（東大大気海洋研）

- A458 杉 正人 (JAMSTEC) なぜ地球温暖化により全球の熱帯低気圧の数が減るのか
- A459 大内 和良 (JAMSTEC) 高解像度全球大気モデルにおける熱帯低気圧と季節内変動－Athenaプロジェクト・北半球夏季実験－
- A460 沢田 雅洋 (東北大院理) 台風に伴う雲・降水日変動の要因と放射の役割
- A461 増永 浩彦 (名大地球水循環) 熱帯湿潤対流に対する大規模強制力および大気応答に関する衛星観測研究
- A462 安永 数明 (RIGC/JAMSTEC) 熱帯波動擾乱における降水特性の違い
- A463 米山 邦夫 (JAMSTEC) MJOを巡る観測研究：MISMOからCINDY2011へ

大会第4日 〔 5月21日(土) 〕 13:30～17:00 専門分科会

C 会場

「ひまわり8号, 9号」が拓く新しい気象学」

趣旨説明

座長 : 増田 一彦 (気象研)

C451 太原 芳彦 (気象庁気象衛星) 静止地球環境観測衛星「ひまわり 8 号・9 号」

新センサーの活用

座長 : 中島 孝 (東海大学情報技術センター)

C452 奥山 新 (衛星センター) 次期静止衛星搭載イメージャのシミュレーションデータの開発

C453 中島 孝 (東海大TRIC) 第3世代「ひまわり」による雲特性観測計画

C454 竹中 栄晶 (千葉大CEReS) 第3世代「ひまわり」による放射収支の推定

ラピッド・スキャン観測

座長 : 大野 智生 (気象庁気象衛星センター)

C455 下地 和希 (衛星センター) 次期静止気象衛星ひまわり観測データの活用戦略

C456 岡部 いづみ (衛星センター) 積雲急発達域検出プロダクトの開発について

休憩

数値モデルへの同化

座長 : 岡本 幸三 (気象研)

C457 岡本 幸三 (気象研) 全球数値予報における次期静止気象衛星の同化

C458 山下 浩史 (気象庁数値予報) 静止気象衛星「ひまわり」から算出される衛星風のデータ同化

総合討論

座長 : 増田 一彦 (気象研)

※各講演の持ち時間は質疑を含めて15分です.

大会第4日 〔 5月21日(土) 〕 13:30～17:00 専門分科会

D 会場

「AR5に向けた気候変化予測の現状」

趣旨説明

木本 昌秀（東大大気海洋研）

気候システムモデリング

座長： 渡部 雅浩（東大大気海洋研）

- D451 横畠 徳太（環境研） 全球気候モデルMIROC5による現在気候の再現と将来予測
- D452 塩竈 秀夫（環境研） 気候感度の物理パラメータ不確実性
- D453 廣田 渚郎（東大大気海洋研） 熱帯海上における降水特性による降水・循環の将来変化パターンのマルチモデル間の違い

近未来予測・極端現象予測

座長： 石井 正好（気象研究所）

- D454 近本 喜光（東大大気海洋研） MIROCを用いた近未来予測システムの開発
- D455 森 正人（東大大気海洋研） 高解像度大気海洋結合モデルによる近未来気候変動予測実験
- D456 鬼頭 昭雄（気象研） 気象研究所全球20km・60km格子大気大循環モデルによる将来の極端現象変化予測
- D457 金田 幸恵（JAMSTECつくば勤務） 革新プログラム・チーム3「極端現象」：領域温暖化予測実験 水平解像度5km非静力学モデルによる梅雨期の降水現象の将来変化

休憩

地球システムモデリング

座長： 河宮 未知生（JAMSTEC）

- D458 行本 誠史（気象研） 気象研究所地球システムモデル（MRI-ESM1）の気候再現性と気候感度
- D459 渡辺 真吾（JAMSTEC） 地球システムモデルMIROC-ESM-CHEMによるアジア域の有害紫外線シミュレーション
- D460 羽島 知洋（JAMSTEC） 地球システム統合モデルMIROC-ESMにおけるRCPsシナリオ下での陸域炭素循環・土地利用変化の影響解析
- D461 須藤 健悟（名大院環境） 化学・エアロゾル気候モデルを用いた短寿命気候影響物質の放射強制力の評価
- D462 伊藤 彰記（JAMSTEC） 東シベリア森林火災起源の溶存鉄の西北太平洋への供給に関するエアロゾルモデル解析

総合討論

司会： 鬼頭 昭雄（気象研）

※各講演の持ち時間は質疑を含めて15分です。

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P101 前田 芳恵 (東大IR3S) 温暖化リスクメディアフォーラム
- P102 横内 絢子 (気象協会) 地域防災力向上におけるソーシャルメディアの役割 ~ Twitterを活用した災害情報チャンネルの開拓の試み ~
- P103 金久 博忠 (気象大) 加熱に対する大気の共鳴応答の解析解
- P104 小田 真祐子 (富山地方気象台) Rossby波と重力波の相互作用の解析解
- P105 安藤 紘基 (東大理) 金星大気における内部重力波の鉛直波数スペクトル
- P106 太田 真衣 (東大大気海洋研) 冬季アジアモンスーンと北太平洋のストームトラック活動との関係
- P107 山上 晃央 (筑波大院生命環境) ロスビー波の増幅と碎波による大気大循環のエネルギー Spektrum の検証
- P108 平松 章男 (北陸先端大知識) 確率予報を利用した意思決定のモデルについて
- P109 山下 和良 (放送大学) 都市型集中豪雨の予測に向けた事例解析
- P110 黒田 徹 (JAMSTEC) インクリメント法 LETKF を用いた実験システムの構築 (第2報)
- P111 田中 基裕 (広島地方気象台) 2010年7月16日に広島県庄原市で大雨をもたらした降水系のメカニズムについて
- P112 下山 紀夫 (気象協会) T0918の外側降雨帯に発生した局地前線と積乱雲群の解析
- P113 下瀬 健一 (気象研) 冬季に庄内平野で突風をもたらした降水システムの形態分類
- P114 水成 真由美 (筑波大) 東京都で発生する夏季の短時間強雨の気候学的研究
- P115 アリ マルヤディ (防衛大地球海洋) Artificial Seeding Simulation Using Dry Ice in Kupang, Indonesia
- P116 斎藤 篤思 (気象研) 航空機搭載用氷晶核測定装置による観測 (その2)
- P117 越田 智喜 (いであ) XバンドMP レーダによる融解層の観測
- P118 小林 隆久 (気象研) 雲・降水レーダーシミュレーターの開発: 3-雨滴生成モデル
- P119 佐藤 陽祐 (東大大気海洋研) 衛星観測および飛行機データを用いた JMANHM-HUCM の Validation
- P120 小池 克征 (いであ) 山岳性降雪雲を対象とした地上気象観測と JMANHM_1km データとの統計的な Validation
- P121 藤吉 康志 (北大低温研) ドップラーレーダを用いた海水移動ベクトルの作成、渦状擾乱と突風域の検出
- P122 上村 清二 (防衛大地球海洋) 気象データと浅海での海水温度構造から見た音波伝搬特性
- P123 松浦 由希 (防衛大地球海洋) 静止気象衛星赤外差分画像を用いた黄砂の動向解析
- P124 川村 誠治 (NICT) 沖縄偏波降雨レーダ COBRA を用いた改良型バイスタティック観測システムの実証実験
- P125 占部 享史 (RISH) 赤道大気レーダーによる熱帯対流圏のレンジイメージング観測 - CLEAR2010 における観測結果 -
- P126 平松 佑脩 (首都大都市環境) ヴァリオグラムを用いたレーダー・アメダス解析雨量の空間的連続性に関する研究
- P127 能登 美之 (高層気象台) 高層気象観測測器の更新に伴う影響の評価
- P128 堀口 光章 (京大防災研) 中立に近い大気境界層における組織的乱流構造 - 気象観測鉄塔 (つくば) によるデータの解析 -

大会第1日 〔 5月18日(水) 〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P129 小田 僚子 (NICT) 東京都市域における夜間の鉛直流擾乱
- P130 瀧本 浩史 (東工大院理工) 境界層中に発達する乱流構造の地表面幾何依存性
- P131 日下 博幸 (筑波大学計算科学) つくば市における2010年冬季・夏季の気温分布の実態
- P132 石 蕊 (東工大院理工) ラグランジュアン観測に基づく冬季の都市街区温熱環境調査
- P133 岡田 牧 (筑波大院生命環境) 夏季日中における小規模緑地が近隣街区の気温に与える影響
- P134 森口 匡俊 (防大地球) 霧の解消過程における視程変動の特徴
- P135 稲村 友彦 (首都大都市環境) 局地風「羅臼だし」吹走時における大気の鉛直構造の特徴
- P136 八坂 陽範 (防衛大地球海洋) ヤマセに伴って発生した細胞状雲の構造
- P137 栗林 正俊 (筑波大院生命環境) 南西諸島におけるミー散乱ライダーを用いた海上混合層の鉛直構造の推定
- P138 佐藤 和敏 (弘前大理工) 近年の北極海における雲鉛直構造の変化

大会第2日 〔 5月19日(木) 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P201 伊藤 享洋 (気象大) Eyewallに惹起された渦Rossby波の解析解
- P202 菅田 誠治 (環境研) 南北両半球における冬期成層圏極渦の孤立性の年々変動
- P203 武樋 蒔子 (東北大理) 帯状平均場からみた北半球中高緯度における短期的な寒気放出
- P204 永田 玲奈 (お茶大) 2010年夏における北太平洋高気圧の動向と循環場の特徴
- P205 田中 実 (所属なし) 中部太平洋に梅雨期と秋雨期に出現するP-Jパターンと似たMid-Pacific(M-P)パターン
- P206 山崎 哲 (九大院理) 渦と渦の相互作用によるブロッキング持続メカニズムー2010年7・8月事例への適用ー
- P207 篠沢 佳久 (慶大理工) 異なる地点間の予報精度の評価手法の提案
- P208 坂本 雅巳 (気象庁数値予報) 大規模並列計算のための全球格子モデルの開発
- P209 鶴沼 昂 (高知大院理) 2008年5月13日に発生した四国における線状降水帯の数値実験
- P210 尾上 万里子 (名大地球水循環) 平成22年7月15日に可児・八百津周辺で発生した豪雨の解析(1)ーXバンド偏波レーダを用いた降水システムの構造解析ー
- P211 加藤 雅也 (名大地球水循環) 平成22年7月15日に可児・八百津周辺で発生した豪雨の解析(2)ー雲解像モデルと雷シミュレーションの結果ー
- P212 仲野 久美子 (東工大院理工) 都市の地表面形状及び土地被覆の違いが及ぼす局所的集中豪雨への影響
- P213 吉田 翔 (筑波大院生命環境) メソγスケール対流系の雨量と高度1kmの風の収束の関係
- P214 折笠 成宏 (気象研) ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化(その5)
- P215 鈴木 賢士 (山口大農) 初冬の寒気流入に伴う降雪雲のビデオゾンデ連続観測
- P216 越田 智喜 (いであ) 渇水被害軽減のため、山地部に出現する降水の出現状況の調査
- P217 篠田 太郎 (名大地球水循環) 衛星より観測される赤外・マイクロ波輝度温度を用いた雲解像モデルの結果の検討(その2)
- P218 大竹 秀明 (気象研) 夏季の高知上空における航空機観測と雲解像モデルとの統計的なvalidation
- P219 稲飯 洋一 (名大院環境) 西太平洋熱帯対流圏界層における水蒸気と巻雲
- P220 長田 和雄 (名大院環境) テストダスト粒子に含まれる水溶性物質の体積割合
- P221 杉谷 茂夫 (NICT) 沖縄本島西岸域における蜃気楼連続観測
- P222 古澤 文江 (名大地球水循環) 地表面射出率の降水推定への応用と地表面温度導出について2
- P223 胡斯 勒図 (TRIC) GCOM-C/SGLIの氷雲粒子散乱データベースの作成について
- P224 酒巻 洋 (三菱電機) 可搬型偏光ライダーの開発
- P225 高橋 暢宏 (NICT) CloudSatのレベル1とレベル2データの比較
- P226 瓜田 真司 (首都大院) 解析雨量の年々変動に関する研究-5km格子への変換方法に着目して-
- P227 栗田 進 (気象研) 粗度・ゼロ面変位の安定度依存性に関する“Zilitinkevich et al. (2008)の式”の検証(弱安定時)と一般化(キャノピー依存性)
- P228 野口 淡海 (東工大院理) 久が原タワーを用いた大気乱流のスペクトル解析
- P229 稲垣 厚至 (東工大) 低周波変動する流量下での都市接地境界層の数値解析
- P230 阿部 紫織 (筑波大) 多治見市における夏季の気温分布の実態調査(その1)

大会第2日 〔 5月19日(木) 〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P231 池守 春奈 (筑波大院生命環境) 筑波大学学内におけるヒートアイランド観測
- P232 小笠原 拓也 (気象協会) 細粒度センサネットワークで捉えられた館林市の温熱環境の統計的特性
- P233 伊藤 優 (埼玉大院理工) 関東地方の猛暑に関わるヒートアイランドの構造解析
- P234 桐山 悠祐 (東理大) 夏季関東内陸部における混合層の発達とオゾンの鉛直分布の関係
- P235 片境 泰聡 (首都大都市環境) 局地風シミュレーションの気温上昇メカニズムに関する研究
- P236 川合 秀明 (気象研) 海洋性境界層雲の層積雲から浅い対流への遷移
- P237 藤井 貫志 (防衛大地球海洋) 衛星データを用いた下層雲の雲底高度推定と航空機観測との比較検討
- P238 庭野 匡思 (気象研) 積雪不純物が雪面熱収支に与える影響の評価

大会第3日 〔 5月20日(金) 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 杉山 聡 (NTT環境研) 全球気候モデル計算結果を用いた雷の傾向の分析
- P302 上野 正博 (筑波大院生命環境) 関東地方における過去30年間の気候変化シミュレーション
- P303 石崎 安洋 (環境研) パターンスケリングの排出シナリオ依存性
- P304 石崎 紀子 (気象研) 20km格子マルチRCMによる温暖化時の日本の地域気候変動
- P305 中野 満寿男 (JAMSTEC) 高解像度大気モデルで予測された日本付近の熱波の将来変化
- P306 筒井 純一 (電中研) オンライン版簡易気候モデルSEEPLUS
- P307 奥 勇一郎 (京大防災研) 全球大気モデル温暖化予測実験による土砂災害関連指標降水量の将来変化
- P308 美山 透 (RIGC) 東シナ海の黒潮沿いにあらわれた降水帯
- P309 石原 幸司 (気象研) 新しい陸上気温データセットの作成
- P310 久慈 誠 (奈良女子大) 北極Ny-Ålesundにおける雲量の季節変化
- P311 丸山 文男 (名大院環境) レジーム・シフトと大気と海洋の時系列のフラクタル性の変化の関係
- P312 河合 理也 (富山大院理工) 対流圏中層の水平温度移流を指標とした梅雨の季節進行と経年変動
- P313 田畑 弾 (日大文理) KBS気圧データを用いた気圧急変動現象解析
- P314 大谷 和男 (岡山大教育) 九州付近における梅雨降水活動の2000年代以降の変化 (続報)
- P315 関 隆則 (気象予報士会) 東京の無降水継続日数の順位分布とその特徴
- P316 田上 善夫 (富山大人間発達科学) 東アジアにおける局地循環系の出現と変化
- P317 平岡 愛 (富山大院理工) 富山及び石垣島における梅雨期の降水起源解析
- P318 重里 昌 (東京海上研) 台風の気候変動に伴う変化 ―各気象要素についての感度実験―
- P319 勝俣 昌己 (JAMSTEC) 季節内変動に伴う熱水収支変動: インド洋・西太平洋での近年の特別観測から
- P320 寺尾 建哉 (北大院環境科学) 東部熱帯太平洋における下層雲変動の力学的要因
- P321 金丸 佳矢 (名大院環境) Aqua AMSR-E/AIRS を利用した熱帯域の地表面水蒸気量の推定
- P322 マハビク ナッタポン (京大院理) Precipitation characteristics in Thailand using weather radars and surface meteorological observations
- P323 Rochelle Coronel (東北大) Simulated Intensity of Tropical Cyclone Megi (2010): Impacts of Horizontal Resolution, Evaporative Cooling and PBL Schemes
- P324 益子 渉 (気象研) 気象庁非静力学モデルによる台風の再現性の統計的検証
- P325 大井川 正憲 (京都大・理) ITCZ域でみられた大規模な東西雲帯の南北分割
- P326 関谷 高志 (名大院環境) 全球対流圏オゾン経年変動の回転EOF解析: ENSOおよびAOのインパクト
- P327 田中 泰宙 (気象研) 全球エアロゾルモデルによる黄砂予測シミュレーションの精緻化
- P328 矢吹 正教 (京大生存研) 信楽における下部対流圏エアロゾル・微量気体成分の観測
- P329 内山 明博 (気象研) つくばでの地上観測によるエアロゾル光学特性の変動
- P330 財前 祐二 (気象研) エアロゾル粒子の加熱による形態変化
- P331 遠藤 寛也 (名大院環境) 南極昭和基地への黒色炭素の長距離輸送と起源の推定

大会第3日 〔 5月20日(金) 〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P332 板野 稔久 (防衛大地球海洋) MTSAT-2 のSplit-Window 及び近赤外画像でみた新燃岳噴煙の動態
- P333 茂木 信宏 (東大先端研) 微粒子から放出される熱輻射光の偏光・方位依存性の検証実験
- P334 工藤 玲 (気象研) 日本のエアロゾル光学特性の長期変動と地上日射への影響
- P335 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原ナム湖における放射観測
- P336 真野 裕三 (気象研) Nonstandard FDTD による電磁波散乱問題の計算
- P337 朝倉 利員 (果樹研) ソメイヨシノ開花予測のための一般化モデルとパラメータの最適化法
- P338 高野 哲夫 (SnowCast /気象予報士会) 新潟県内における冬の季節風と陸風によるシアーライン発生の数値実験

大会第4日 [5月21日(土)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P401 大島 一洋 (筑波大院生命環境) 20km-AGCMにおける冬季日本周辺域の低気圧活動の再現性および将来変化
- P402 大島 和裕 (北大地球環境) CMIP3マルチ気候モデルにおける冬季北太平洋の海面気圧トレンドにみられる地域差とその不確実性
- P403 坂井 大作 (JAMSTEC) 8月の日本における極端気温と気圧配置の関係
- P404 花房 瑞樹 (気象研) 高解像度日本域気候モデルによる日本の地上風の再現性と将来気候における変化
- P405 菅野 洋光 (東北農研センター) ザンビアにおける降水量観測と数値シミュレーション
- P406 坂口 晃一 (アリゾナ大大気) Temporal and Spatial Scale Dependence of IPCC AR4 Climate Models in Simulating the Surface Temperature Trend
- P407 仲江川 敏之 (気象研) 全球1km土地被覆データセットの選択による大気モデル土地被覆の不確実性
- P408 鈴木 香寿恵 (極地研) 南極氷床への対流圏大気の輸送メカニズム
- P409 小池 百合子 (筑波大院生命環境) バックトラジェクトリー解析を用いたモンゴル旱魃発生要因の推定
- P410 朱 心悦 (東北大院理) Long-term climatic characteristics over China by two reanalysis data
- P411 岡山 仁 (名大院環境) 東アジアにおける春の雨季の季節進行
- P412 宮島 純也 (筑波大院生命環境) 時間スケール別にみた日本の極端降水の気候学的研究
- P413 小口 哲史 (筑波大院生命環境) 日本における降水の長期変動の季節特性と地域特性
- P414 平田 航 (筑波大院生命環境) 二つ玉低気圧通過に伴う降雨・降水の気候学的研究
- P415 田上 雅浩 (熊大院自然) 降水安定同位体比を用いた熊本における降水起源の季節変化
- P416 古林 慎哉 (気象庁気候情報) 第2次長期再解析JRA-55の本計算開始と初期評価結果
- P417 林 未知也 (九大理) 熱帯での風と積乱雲の相互作用における $\cos\phi$ コリオリ項の重要性について
- P418 松本 淳 (JAMSTEC) ベトナム・フィリピン豪雨集中観測2010(VPREX2010)
- P419 吉崎 正憲 (JAMSTEC) Convectively-coupled equatorial waves (CCEWs)の問題点
- P420 本間 有慈 (北大院環境科学) 熱帯の季節内振動に伴う東アジア域の降水変動の解析
- P421 吉村 淳 (東大大気海洋研) 西太平洋に発生したtwin cyclonesの統計解析
- P422 横井 覚 (東大大気海洋研) 「発生地別台風統計法」を用いた台風存在頻度の将来変化予測の要因解析
- P423 和田 章義 (気象研) 北太平洋海域におけるArgoデータを用いた台風最大強度と海洋貯熱量の関係の検証
- P424 徳野 正己 (気象研) 水蒸気チャンネルによる台風の強度推定
- P425 井上 忠雄 (名大院環境) 中国東部中央域における対流圏カラム NO_2 の週内変動
- P426 眞木 貴史 (気象研) 逆解析を用いた黄砂放出量解析手法の開発
- P427 速水 洋 (電中研) 初冬季のつくば市における粒子状物質の鉛直分布
- P428 直江 寛明 (気象研) 冬季新穂高で採集されたエアロゾル粒子の混合状態
- P429 大畑 祥 (東大先端研) 東京と沖縄における雨水中のブラックカーボン濃度の測定
- P430 上田 紗也子 (名大院環境) 南インド洋・南極海洋上で観測されたスス粒子

大会第4日 〔 5月21日(土) 〕 11:30～12:30 ポスター・セッション

- P431 宮脇 力 (京大生存研) 小型水蒸気ラマンライダーを用いた信楽上空の大気計測
- P432 深堀 正志 (気象大) エーロゾルの粒径分布とオングストローム指数の関係
- P433 松本 暢明 (気象大) 千葉県柏市におけるエーロゾルの光学特性および粒径分布の季節変化
- P434 竹中 栄晶 (千葉大CEReS) SKYNET および BSRN 日射計観測データを用いた衛星推定全天日射量の地上検証
- P435 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原上の湖の衛星データ解析
- P436 児嶋 恵 (三菱総研) 気候変動に伴う観光快適度の変化について
- P437 高橋 庸哉 (北教大) 小学校児童用ワークシート「冬の天気」の開発と授業実践
- P438 岩崎 杉紀 (防衛大地球海洋) オーバーシュートと下部成層圏の空気の混合